



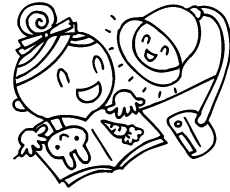
幼児のための日本語教室

ジャルジン



令和4年4月
ある日の「ジャルジン」の学習内容

- 挨拶
- 今日の日付
- 今日の天気
- 時計「12時」「3時」
- あいうえお表
- 「し」「う」の復習
- 基本の日本語
「立ちます／座ります」
「見ます」
「聞きます」
「手をあげます／おろします」
- 新出語彙
「そら」「たいよう」「くも」「ゆき」
「あめ」「かぜ」「にじ」「ゆきだるま」



今年度も豊田市委託事業として「幼児日本語教室ジャルジン」を伊保子ども園と保見団地UR第1集会所で開催しています。



お菓子をいただきました

理事の兵藤さんを通じて、土橋町の法雲寺さんからお菓子をたくさんいただきました。

子どもたちへの素敵なプレゼントをありがとうございました。みんな大喜びでした。



おいしいお菓子をありがとうございました。

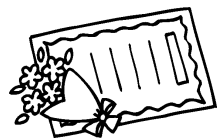


今日も宿題と「ゆめの木教室」の勉強を頑張ったね。



令和3年度「ゆめの木教室」スタッフ卒業

令和4年3月、「ゆめの木教室」の活動に参加している大学生スタッフの4名が卒業をしました。「ゆめの木教室」では、学習を中心に活動を行っていますが、子どもたちにとっては学習だけでなく、進路や日々の出来事を相談できる頼もしいお兄さん&お姉さんでした。



一緒に勉強ができて楽しかったです。また遊びに来てください。



子ども達の国

2022年5月発行 Vol.46



●放課後学習支援事業「ゆめの木教室」

小学生：月曜日～金曜日 14:00～18:00

中学生：火曜日、水曜日、金曜日 14:00～18:00

月曜日、木曜日 14:00～19:30

●青少年の自立支援事業「そら」

木曜日：午後6時00分～8時00分

●幼児の日本語教室「ジャルジン」

●青少年の健全育成のための事業

問題を抱えた子どもとその家族に対し

随時相談・援助を行なう

●交流会





ゆめの木教室



「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。
令和4年4月 ある日の「ゆめの木教室」報告

- 1年：「ぜんぶで」「〇をつける」の勉強を母語の助けを借りながら学習しました。
- 1年：やることの内容がわかればできると思います。まだ自分本位なので、まずはスタッフの話の聞きましよう。
- 2年：自分のペースで落ち着いて学習を進めていました。問題文の「いつ」「どこ」の意味がわからないようでした。
- 2年：「時間と時刻」は自力では難しいです。模型を動かしながら一緒に考えました。
- 3年：算数の「面」「辺」「頂点」はよくわかっています。「長方形」「正方形」もOKです。
- 3年：漢字の音読みや訓読みがよくできています。算数の「L」「dL」「mL」の関係が怪しいです。
- 4年：九九検定のタイムは縮められましたが、合格ラインまではいきませんでした。「ことばと文しょう」の直しもしました。
- 5年：焦り気味のため計算のミスが目立ちますが、きちんとやり直しができます。
- 5年：直方体、立方体など算数の基礎的な言葉が読めません。国語の音読はよく読めました。
- 6年：簡単なわり算はなんとかできます。文章題になると立式ができません。
- 6年：計算はやり方がわかればスラスラできます。九九が定着しているので、正解が多いです。漢字は読めても書けないものが多いです。



令和4年3月17日版



中日新聞に「子どもの国」の活動が掲載されました

第52回「博報賞」受賞

愛知県特定非営利活動法人「子どもの国」

豊田市の保見団地で22年にわたり、日系ブラジル人を中心とする外国籍の子どもたちへの日本語教育や学力向上支援に取り組んでいる「子どもの国」について書かれています。

理事長の井村さんが「子どもの国」の活動を始めたきっかけや「子どもの国」のこれまでの歩みを是非ご覧ください。



NPO法人 キャリア塾



「子どもの国」では、外国につながる生徒に対して、仕事について考え、自分自身の将来を展望してもらうこと、それによって日々の学習へとつなげる行動を促すことを目的に「キャリア塾」を開催しています。

第一回は「そもそも仕事ってなんだろう」をテーマに、仕事はどんなものなのか、どうして仕事があるのか考えました。

第二回、第三回のキャリア塾では、「大学生の『これまで』を知る」をテーマに大学生スタッフの皆さんに、中学時代や高校時代にどのようなことを考えて過ごしてきたのか話してもらう機会を作りました。



第2回キャリア塾
大学生の「これまで」を知る Part1
「大学生の語る中学時代」



【質問事項】

- ・どんな毎日？どんな自分？
- ・部活は？どんな風に力を入れていた？
- ・得意／苦手な科目。



吹奏楽でサクスを吹いていた。自分の楽器を持っていくくらい力を入れていた。

- ・どんなところが好きだったか。さらに好きになるために何かしたか。
- ・どんなところが苦手だったか。どんな努力をしたか。
- ・中学を卒業してからの進路を考え始めたのはいつごろか。
- ・どんなふうに関校を選び、受験を決めたか。

私立はお金がかかるが、特待制度だと安くなる。2年の終わりあたりに具体的に目標を定め、特待を目指した。



第3回キャリア塾
大学生の「これまで」を知る Part2
「大学生の語る高校時代」



【質問事項】

- ・どんな高校だったか。
- ・どうしてその高校を選んだのか。
- ・中学の勉強と高校の勉強はどう違ったか。
- ・高校卒業後の進路を考え始めたのはいつ頃か。
- ・どのようなことを大切にして進路を決めようと思ったか。
- ・受験勉強はどうだったか。

中学の時にはあまり勉強をしなかったが、高校ではめっちゃ勉強した。学校が3時に終わって、それから9時ごろまで勉強していた。食事をすると寝る時以外はほとんど勉強をしていた。土日は、午前と午後合計で10時間は勉強にあて、過去問をしっかりと解いて受験に挑んだ。

中学校では、ひらすら覚えるだけの勉強だったが、高校では何のために学ぶのか、学習の意味がわかってきた。

